

天才は努力する

校長 濱野 正義

1本の竹には約60個の「節」がありますが、この「節」の数はタケノコの時から変わらないそうです。竹が伸びるのは節と節の間隔が広がるからで、ピーク時には1日80センチも伸びるそうです。

さて、何の話をしているのかわかりますか？

私たちの人生にも同じような「節」があります。入学式、始業式、高総体などがその「節目」です。その節目と節目の間をどれだけ伸ばせるかが、その人が最終的にどれくらい成長するのにかつながらるのです。竹は「光」を求めて、その光に近づこうとぐんぐん伸びていきます。では、人間にとって、「光」に相当するものは何か？

私は、『目標』だと思うのです。

始業式・入学式で「目標を持って、主体的に努力するように」と言いました。「目標が見つからない」という人は、「目標」を難しく考えているのではないですか？「あの人のようになりたい！」と思える先輩、先生、知人はいませんか？身近なところに憧れの存在がいなければ、芸能人、スポーツ選手、歴史上の人物でもいいと思います。

野球に興味がない人でもイチロー選手の名前は知っていますよね。「目標」を「イチロー」としたとしても、もちろんメジャーリーガーに誰もがなれるわけではありません。しかし、イチロー選手の考え方や取り組み方を手本にすることは誰にでもできます。

「努力せずに何かできるようになる人のことを『天才』というのなら、僕はそうじゃない。努力した結果、何かができるようになる人のことを『天才』というのなら、僕はそうだと思う。」

イチロー選手の名言の一つです。

もちろん持って生まれた優れた運動能力があったことは確かなことですが、イチロー選手が偉業を達成したのは、努力の積み重ねがあったからなのです。イチロー選手のような偉大な人が、地道な努力をしている姿は、カッコいいと思いませんか？

高校生の君たちは、無限の可能性を秘めています。やればできるのです。『目標』を決めてください。そして、目標達成に向けて努力し続けてください。「努力できる人が天才なら、僕は天才だ」と言えるように。

「勉強しなかったけど、テスト楽勝やった」「週末の家庭学習時間ゼロやった(笑)」など、努力しないことをカッコいいと勘違いしている人はいませんか？あるいは、「高校では部活動はきついでやらない」「勉強が大変そうだから、楽な部活を選びたい」などと努力することから逃げている人はいませんか？私は校長として、西高を、コツコツと地道に努力する人が「カッコいい」と評価される学校にしたいと思っています。

勉強だけでなく、部活動にも全力で取り組んでください。大会・試合が終わったときに感じる思い、あるいはその時学んだ数々の教訓が、部活動引退後、進路実現に向けて努力する際に、必ず役に立つのです。

1年生、何の部活動に入りましたか？努力することから逃げる選択をしていませんか？

第60回入学式・新任式・始業式

4月10日(月)の午後、本校体育館において第60回生の入学式が行われました。入学式では2・3年生代表生徒、保護者様と職員一同で新1年生240名を盛大に迎えました。春の訪れを告げる満開の桜や新入生の爽やかな雰囲気を感じられる中で、厳粛にそして盛大に執り行われました。晴れて西高生となった第60回生のみなさん、これからは「真の西高生」を目指し、仲間とともに協力し助け合い、3年間を過ごしていきましょう。皆さんの活躍を大いに期待しています。

また、同日の午前中には新任式と始業式が行われました。新しく着任された先生方、そして新1年生を迎えるとともに、在校生も新学年となり、令和5年度の佐世保西高がスタートしました。

【教務主任 瀧上】



新入生研修

4月12日(水)～14日(金)3日間

3日間の研修の中で、学校生活で必要となることを学びました。「挨拶の大切さ」、「聴く態度」、高校生らしくあること、人との付き合い方やクラスの仲間、学年の絆を深めることの意味など様々な先生方が思いを込めて話をされました。そして、校歌練習、集団行動、学級活動、学年競技大会が行われ、それぞれが僅かでも高校生活に自信をつけ、クラスの絆を深めることができたと思います。

特に、学年レクリエーションは大いに盛り上がり、活気のある雰囲気の中で、楽しく、公正・公平に行っていたようです。また、講話をしてくださった先生方から「今年の1年生は挨拶が良いね～」とお褒めの言葉をいただくことが多くありました。是非とも今回の研修で学んだことを今後の高校生活に生かしてもらいたいと思います。我々、60回生の学年スローガンは「和」です。一人ひとりを大切に、尊重し合える学年であってほしいと思います。

【1学年主任 萩原 広太】

クラス対抗学年レクリエーションの様子



新入生部活動紹介 (SAKURAフェス)

4月3日(月) 新入生に向けた部活動紹介「SAKURAフェス」を開催しました。

コーラス部、西高太鼓、吹奏楽部による歓迎演奏の後、各部の代表者が1分間ずつ部の紹介を行いました。限られた時間の中で、コントを取り入れたり、動画を流したりと工夫を凝らし、それぞれの思いを表現しました。一年生のみなさん、部活動を精一杯頑張らしましょう。部活の先輩方と切磋琢磨し、嬉しいことや悔しいこと、たくさんを経験し、大きな成長につなげてほしいと思います。【生徒会担当 大久保】



歓迎遠足

4月28日(金) 弓張岳展望台において歓迎遠足を実施しました。

展望台では対面式や生徒会企画のレクリエーションで盛り上がりました。長縄大会ではクラスで心を一つにし、一生懸命に縄を跳ぶ姿が見られました。山頂でのお弁当はおいしかったですね。歓迎遠足を通して、心身のリフレッシュを図るとともに、クラス等の親睦を深められる機会になったと思います。【生徒会担当 勝】



部活動等結果報告

<ハンドボール部> 令和5年度長崎県高等学校ハンドボール競技春季選手権大会 女子 第2位

<女子ソフトテニス部> 令和5年度(第9回) 佐世保地区高等学校ソフトテニス春季選手権大会
団体 準優勝 個人 優勝 3年 小川優菜・2年 山口姫奈ペア

<弓道部> 令和5年度 第54回県北高校弓道大会

男子個人 優勝 2年 筒井巖仁、女子個人 準優勝 3年 松岡千聡、第3位 2年 山口真央

<ソフトボール部> 令和5年度第45回長崎県高等学校ソフトボール春季選手権大会 第3位

<陸上部> 第59回国見台陸上競技選手権大会

男子100m 第1位 3年 中川穂泉、男子三段跳 第1位 3年 武井陸哉、

男子砲丸投 第1位 3年 飯田隼

<特別国民体育大会強化選手指定書>

陸上部 3年 中川穂泉、1年 井手秀悟

女子ハンドボール部 3年 大石理世、松富ひなの、川原祐美、金子聖零

《6月の行事予定》

1	(木)	高総体代休	10	(土)	GTEC(1・2年) 対外マーク(3年、~11日)
3~6	(土~火)	高総体	15	(木)	前期中間考査時間割発表
7	(水)	高総体代休	17	(土)	県下一斉模試(3年)
8	(木)	高総体報告会	22	(木)	前期中間考査(~27日)
8	(木)	生徒会挨拶運動(~14日)	25	(日)	第1回英検二次
9	(金)	放課後補習開始(3年)	27	(火)	全国大会他壮行式

令和5年度入試(57回生)の結果報告

国立大学

名称	現役	既卒	計
帯広畜産大	1		1
北教大旭川校	1		1
三重大	1		1
滋賀大	1		1
京都教育大	1		1
奈良女子大	2		2
島根大	1		1
広島大	5		5
山口大	2		2
高知大	1		1
九州大	6		6
九州工大	1		1
福岡教育大	5		5
佐賀大	17		17
長崎大	14	1	15
熊本大	10		10
大分大	5		5
宮崎大	3		3
鹿児島大	4		4
合計	81	1	82

公立大学

名称	現役	既卒	計
高崎経大	1		1
横浜市立大	2		2
長岡造形大	1		1
福知山公立大	1		1
県立広島大	1		1
山口東京理科大	3		3
福岡公立大	2		2
下関市立大	1		1
北九州市立大	3		3
福岡県立大	1		1
福岡女子大	1		1
長崎県立大	19		19
熊本県立大	1		1
大分看護科学大	1		1
名桜大	1		1
合計	39		39

私立大学

名称	現役	既卒	計
活水女子大	4		4
長崎純心大	2		2
長崎総合科学大	2		2
長崎国際大	15		15
長崎外大	3		3
西南学院大	3	1	4
福岡大	35	1	36
東京理科大	1		1
同志社大	1		1
立命館大	1	1	2
関西大	1		1
近畿大	3		3
関西学院大	3		3
その他私立大	90		90
合計	164	3	167

短大

名称	現役	既卒	計
中村学園大短大	1		1
長崎短	4		4
合計	5		5

各種専門等

名称	現役	既卒	計
防衛大学校	1	1	2
水産大学校	1		1
九州職能大学校	1		1
嬉野医療附看護	6		6
佐世保市立看護	11		11
福岡美容専門学	1		1
その他	14		14
合計	35	1	36

就職

名称	現役	既卒	計
長崎県警	2		2
自衛隊一般曹候補	1		1
合計	3		3

57回生は、共通テストが昨年より大幅に平均点が上がり、競争が激化しましたが、一人一人が最後まで諦めない姿勢を貫き、多くの卒業生が自分の希望進路を達成していきました。また、総合型・学校推薦型選抜入試では国公立大学に3名(九州大等)が合格、私立大等に12名が合格しました。

また既卒生も自分の第一目標に向けて努力した結果、合格を勝ち取っています。

58・59・60回生も負けずに頑張ってください。

